

## 川上ダム オオサンショウウオ保全対策検討会 議事概要

開催日時 平成30年2月27日（火）14:00～16:00

開催場所 独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所 ふれあいホール

出席委員 4名

### 【議事】

#### （1）オオサンショウウオの保全対策について

- ・これまでの検討会のご意見等に対する対応について
- ・保全対策のスケジュールについて
- ・オオサンショウウオの保護・移転について
- ・生息環境の改善について
- ・モニタリング調査について

#### （2）その他

### 【審議事項】

#### [オオサンショウウオの保護・移転について]

事務局から、河川の水を切り替えた時点（仮締切時）の個体の保護方法及び今後の保護・移転方法（流水時）について説明を受け、内容が妥当であることを確認され、了承された。

検討会での主な意見等は次のとおり。

- 河川の水を切り替えた1日目に多数の人員が調査範囲内に立ち入ることになるため、現場の指揮系統をしっかりとしておく必要がある。
- 調査時に保護する15cm前後の幼生へもマイクロチップの挿入を行う必要がある。
- 保護調査においては水を完全に抜くことが重要であり、重機の使用は慎重に行う必要がある。
- 外来種が発見された場合は個体数や大きさ等を計測しておき、確実に駆除する必要がある。
- 調査時に魚類等の保護を行う際には、新鮮な水を確保する方法を検討すること。
- 個体の保護・移転（流水時）において、アナゴカゴによる捕獲法の成功率を調べておくこと。

[生息環境の改善について]

事務局から、河川の水を切り替えた時に行う、ダム建設予定地下流の生息環境の改善方法について説明し、内容が妥当であることが確認され、了承された。

検討会での意見等は特になし。

[モニタリング調査について]

事務局から、生息環境への影響評価、保全対策の効果の評価を行うためのモニタリング調査に関する説明を受け、内容が妥当であることを確認され、了承された。

検討会での主な意見等は次のとおり。

- 成体のモニタリング調査の結果整理について、移転させた個体の上下流への移動の方向と全長体重との関係を整理すること。
- 遡上路の利用実態調査結果を踏まえ、オオサンショウウオの遡上が確認されない遡上路があれば改良することについて検討すること。
- 人工巣穴の利用実態調査結果を踏まえ、今後も設置場所と構造について検討すること。

以 上